

新基地建設反対名護共同センターニュース

「裁判所は法治主義に則り適切な判断を」



デニー知事「対話が最も重要」

シンポでデニー知事が「辺野古問題では対話による解決が最も重要。辺野古新基地阻止の思いを全国に情報発信して欲しい」とよびかけました。



紙野名譽教授と仲西弁護士が講演
 名古屋大学の紙野健二名譽教授は「新基地建設で国は数々の無法を行っている。県民と国民の支持を背景に沖縄県を支援し、客観的事実の積み上げを国と裁判所に突き付けることが必要」と強調。仲西孝浩弁護士は「県が国を相手の二つの裁判提起で県の主張が認められる可能性が高くなる」と説明しました。司会を本多滝夫龍谷大教授が務め、デニー知事も訴えました。出席したオール沖縄の衆参国會議員が挨拶をしました。

辺野古訴訟支援研究会は9月29日、那覇市内で緊急シンポジウム「辺野古のたたかひの今と展望」(後援IIオール沖縄会議・うりずんの会)を開催、県民220人が参加しました。研究者や弁護士が防衛局の審査請求を同じ国の国交相が裁決したことに「国はいくつの顔を演じるのか」「裁判所は法治主義にのっとり適切に判断すべきだ」と訴えました。

「国はいくつもの顔を演じるのか。無法の極みだ」
 シンポジウム「辺野古のたたかひの今と展望」開く

「カメジロー」ロケ地巡りツアーのお知らせ

現在、全国で好評上映中の「カメジロー」第2弾のロケ地とゆかりの地を巡るバスツアーが「不屈館」主催で行われます。今回はカメジロー自宅跡や投獄されていた刑務所跡などを回ります。カメジロー次女の内村千尋さん(不屈館館長)も同行し、父のことや映画の撮影秘話など話します。案内は平和ガイドの下地輝明さん。詳細は「不屈館」のホームページをご覧ください。



日時 10月15日(火)
 10時出発→16時帰着予定
集合 9時30分
 不屈館駐車場集合
参加費 2500円(学生1500円)
 ※バス台と資料代です。
 ※弁当、飲み物はご持参ください。
定員 40名(先着順)
申込先 不屈館(火曜日定休日)
 ☎ 098(943)8374
 Fax 098(943)8375

10月ゲート前県民大行動へ

県民投票や国政選挙などで何度も「辺野古新基地反対」の民意を示しても、国は違法な埋め立て工事を強行しています。粘り強く抗議の声を上げ続けましょう。

定例のゲート前県民大行動の10月は、

- 日時 **5日(土)** 11時~12時
- 主催:「オール沖縄会議」
- 場所: キャンプ・シュワブ
ゲート前テント村



写真は9月26日のゲート前

**辺野古新基地
 建設許すな!**

共産党県後援会が

辺野古バスツアー企画

10月18日から開始

辺野古新基地建設の強行を許さないため、日本共産党県後援会として現地へのバスツアーを次のように開始します。お誘い合わせてご参加ください。



●10月18日(金)

9:00 南部地区委員会出発

9:20 共産党県委員会(泊)

←(沖縄高速道停留所)

10:30 辺野古ゲート前着

←

16:00 南部地区委員会着

●主催II 沖縄県

日本共産党後援会

●資料代II 1000円

●申し込みは左記☎へ

県委員会 098(862)6232

南部地区 098(894)6350

中部地区 098(937)5503